

第 2 次関市一般廃棄物処理基本計画の点検・評価について

第 2 次関市一般廃棄物処理基本計画は、令和 3 年度を計画初年度とし、令和 17 年度を目標年度とする 15 年計画であります。市民や事業者の意見・要望を反映させ本計画を効率的に推進していくために、廃棄物減量等推進審議会によって進捗状況の管理と長期的展望に立ったシステムの選択を行い、PDCA サイクル（事業の点検・評価・見直しを行う仕組み）の手法により、本計画の目標の達成状況を管理し、事業の透明化を図ります。

次の指標を用いて、毎年度の施策の実施状況や達成状況などを担当課（環境課）が評価し、廃棄物減量等推進審議会へ報告し、進捗管理を行います。

指標	項目
基本指標 ・本計画において数値目標を定めている指標	1 人 1 日あたりごみ総排出量
	1 人 1 日あたり家庭系ごみ排出量
	事業系ごみ発生量
	生活排水処理率
モニター指標 ・数値目標は定めていないが、進捗状況評価をする指標	資源化率
	最終処分量
	市民 1 人あたりごみ処理費用
	市民 1 人あたりごみ袋使用枚数
	資源回収団体数

概ね 5 年ごとの計画見直し時には、担当課が施策ごとの実施状況进行评估します。

この評価結果を踏まえて廃棄物減量等推進審議会が施策ごとに「継続」「中止」「変更」を判断します。

PDCA サイクルの枠組み

項目	毎年度	見直し時
点検・評価の方法	・進捗管理指標の把握 ・施策の実施状況	毎年度の項目に下記を追加 ・一般廃棄物処理状況の把握 ・市民意識の調査
点検・評価の主体	・担当課による点検・評価 ・廃棄物減量等推進審議会に報告	・担当課による点検・評価 ・廃棄物減量等推進審議会による判断
点検・評価の項目	・基本指標 ・モニター指標	毎年度の項目に下記を追加 ・一般廃棄物発生量 ・一般廃棄物処理フロー ・市民の意識・意向
見直し・改善の方法	・データを分析し、施策の見直しや改善策を検討	・一般廃棄物処理基本計画に反映
情報公開	・ホームページなどで公表	・ホームページなどで公表

管理指標

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R17 (目標)
	人口	88,380	87,315	86,510	85,738	84,863		
基本指標	1人1日あたり ごみ総排出量 (g)	956	925	870	865	822		850
	1人1日あたり 家庭系ごみ 排出量(g)	548	589	556	545	508		440
	事業系ごみ発生 量(t)	10,422	9,074	8,481	8,300	8,256		9,615
	生活排水処理率	97.4	97.5	97.7	97.7	97.7		99.0
モニター 指標	資源化率	17.5	14.6	13.2	14.4	13.9		—
	最終処分量	919	962	724	810	676		—
	市民1人あたり ごみ処理費用	11,810	12,120	12,268	13,745	14,963		—
	市民1人あたり ごみ袋使用枚数	35	28	32	33	33		—
	資源回収団体数	27	27	22	22	26		—

令和3～5年度に実施した主な施策(今年度も継続予定)

重点プロジェクト1 ごみを知ってごみを減らそう

- ・ごみ処理経費の見える化(広報せき家庭ごみ排出量、概算処理経費掲載)

重点プロジェクト3 資源を分別しやすい環境の整備

- ・拠点回収場所の増加(市役所休日窓口傍で小型家電回収)
- ・古紙回収ボックスの設置(R3設置:旭ヶ丘小、富岡小、富野中、検討中:武芸川中)

※古紙回収業者(株)宮崎の民間活力活用

- ・資源ごみ集団回収の拡充、周知(奨励品目拡大済、広報・HPに資源回収予定掲載)

重点プロジェクト4 高齢者世帯が困らないごみ出しの支援

- ・ふれあい収集(実証実験実施)

重点プロジェクト5 産業廃棄物の不適正排出防止

- ・事業所向けリーフレットの作成

令和6年度実施予定の主な政策

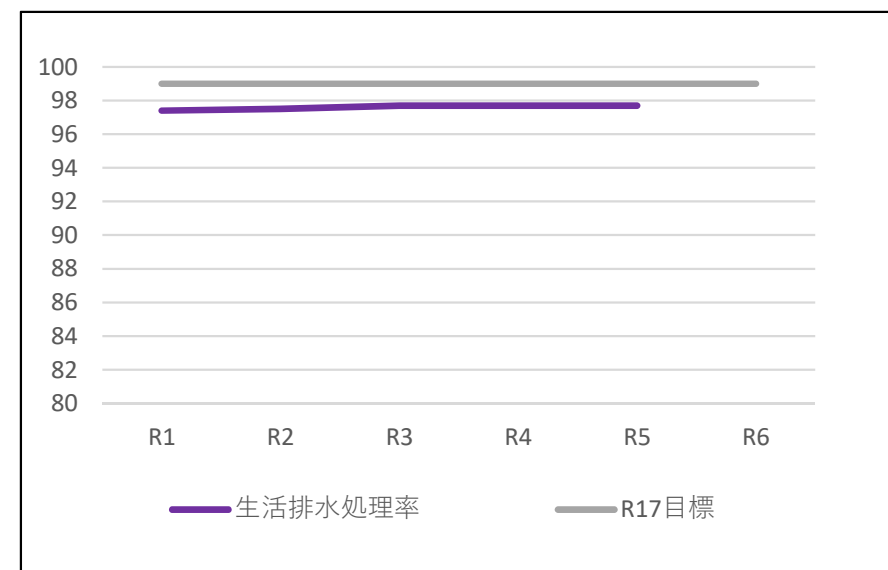
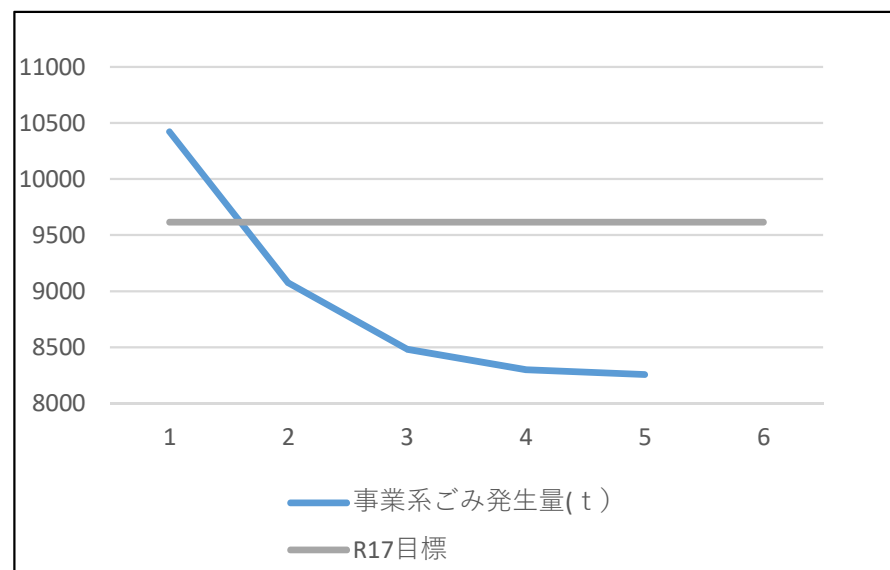
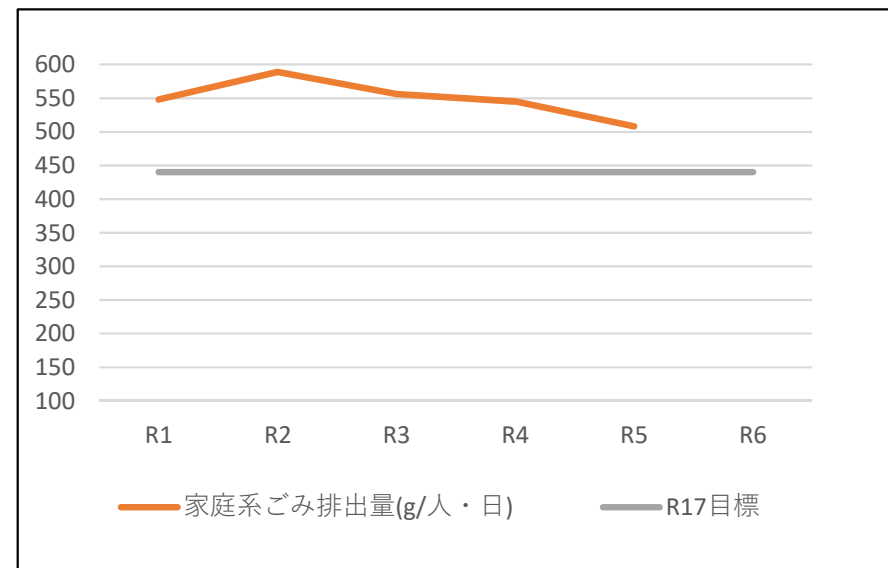
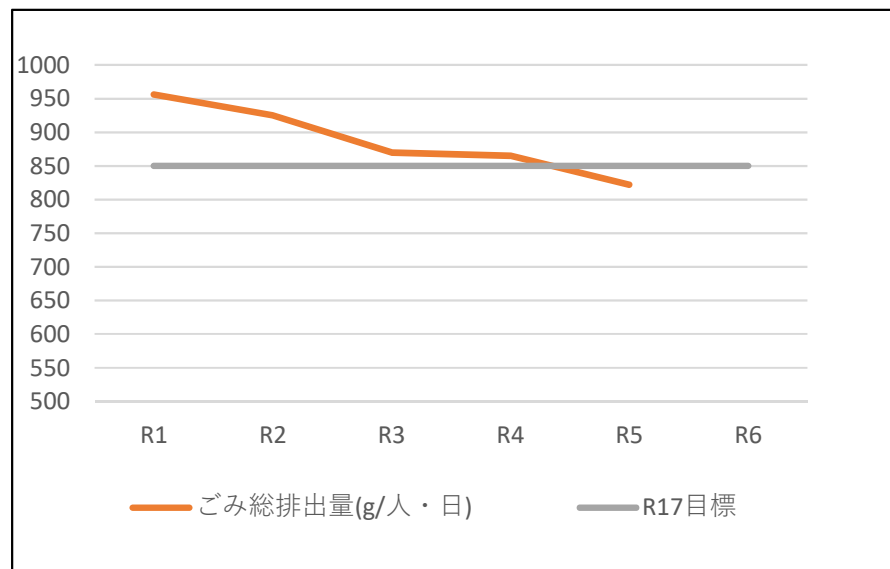
重点プロジェクト2 地域に合わせたごみ出しの選択

- ・人口密度が低い地域での収集頻度の見直し(検討)

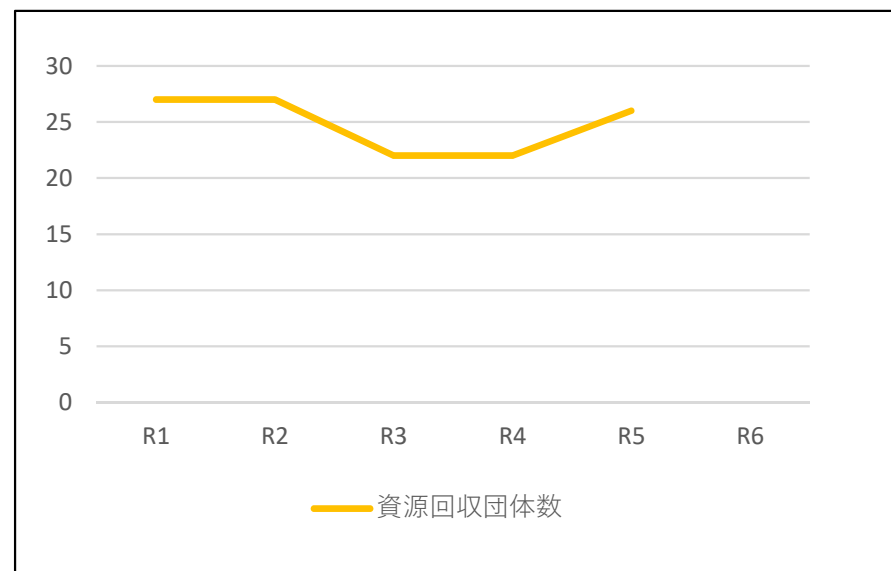
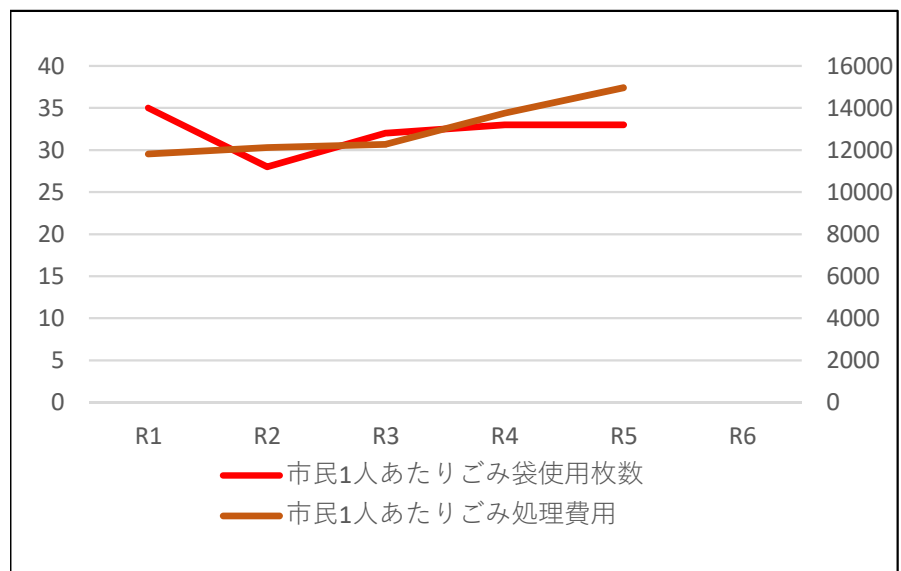
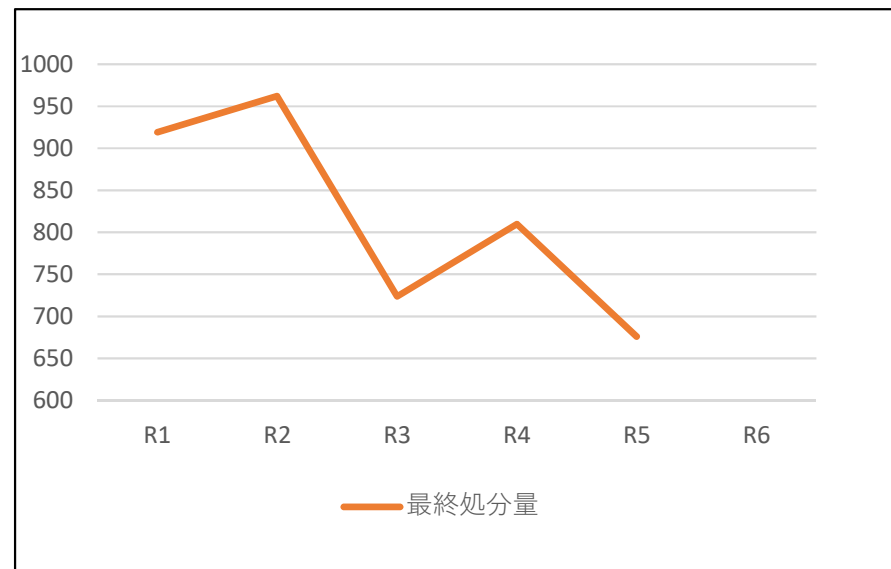
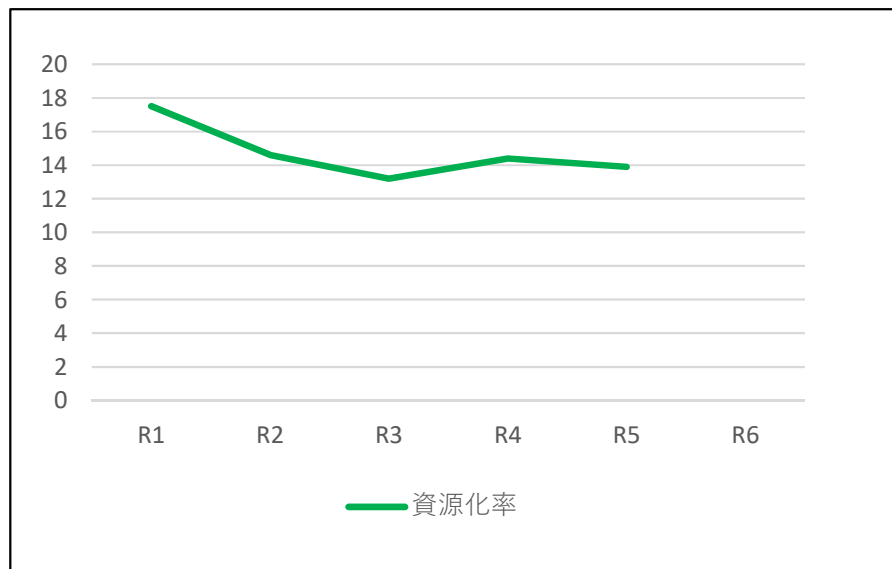
重点プロジェクト4 高齢者世帯が困らないごみ出しの支援

- ・地域で支えあうごみ出しの支援(検討)
- ・ふれあい収集(実証実験実施)

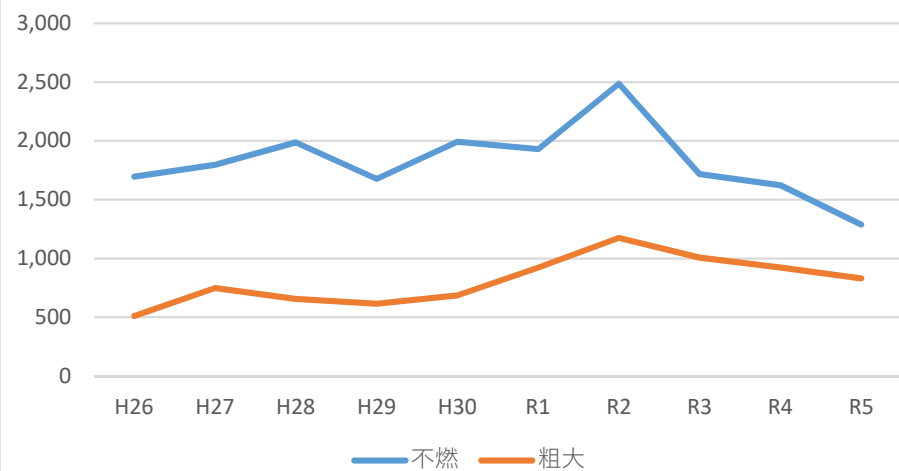
管理指標 推移グラフ



モニタ指標 推移グラフ



不燃ごみ・粗大ごみ



資源物

